

製品名: Cdc40 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08516**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	66kDa

抗原情報

遺伝子名	CDC40
別名	CDC40; EHB3; PRP17; PRPF17; Pre-mRNA-processing factor 17; Cell division cycle 40 homolog; EH-binding protein 3; Ehb3; PRP17 homolog; hPRP17
遺伝子 ID	51362.0
SwissProt ID	O60508
免疫原	抗血清はヒト CDC40 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 179-228

背景

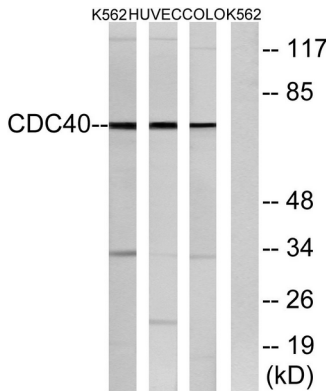
プレ mRNA スプライシングは、2つの連続したエステル交換段階を経て進行します。この遺伝子によってコードされるタンパク質

は、プレ mRNA スプライシング過程の触媒段階 II に必須であることが判明しています。このタンパク質はスプライソソームに存在し、タンパク質間相互作用に關与する 7 つの WD リピートを含みます。このタンパク質は、プレ mRNA スプライシングと細胞周期進行という 2 つの異なる細胞プロセスに機能する酵母 Prp17 タンパク質と配列相同性を有しています。このことから、このタンパク質は細胞周期進行において何らかの役割を果たしている可能性が示唆されます。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能:スプライシング経路の後期にスプライソソームと関連し、pre-mRNA スプライシングの 2 番目のステップで機能する可能性がある。類似性:7 つの WD リピートを含む。サブユニット:スプライソソーム C 複合体に同定され、少なくとも AQR、ASCC3L1、C19orf29、CDC40、CDC5L、CRNKL1、DDX23、DDX41、DDX48、DDX5、DGCR14、DHX35、DHX38、DHX8、EFTUD2、FRG1、GPATC1、HNRPA1、HNRPA2B1、HNRPA3、HNRPC、HNRPF、HNRPH1、HNRPK、HNRPM、HNRPR、HNRPU、KIAA1160、KIAA1604、LSM2 で構成される。LSM3、MAGOH、MORG1、PABPC1、PLRG1、PNN、PPIE、PPIL1、PPIL3、PPWD1、PRPF19、PRPF4B、PRPF6、PRPF8、RALY、RBM22、RBM8A、RBMX、SART1、SF3A1、SF3A2、SF3A3、SF3B1、SF3B2、SF3B3、SFRS1、SKIV2L2、SNRPA1、SNRPB、SNRPB2、SNRPD1、SNRPD2、SNRPD3、SNRPE、SNRPF、SNRPG、SNW1、SRRM1、SRRM2、SYF2、SYNCRIP、TFIP11、THOC4、U2AF1、WDR57、XAB2、ZCCHC8。

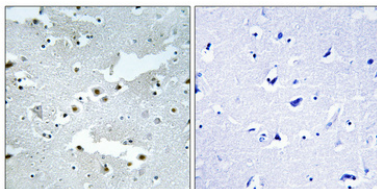
研究分野

スプライソソーム;

画像データ



CDC40 抗体を用いた K562 細胞、COLO 細胞、HUVEC 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。